



看護学部

老年看護学領域

講座のアピールポイント

老年看護学領域は、向老期から超高齢期にある高齢者とその家族への看護に関する教育・研究を行っています。教育では、高齢者の特徴を捉えるために教科書以外の論文などを使用し、「自分たちのような若者と高齢者の違いとは何であるか」、基礎分野で学修したことを整理した後、模擬高齢者の体験演習を行っています。体験を通して高齢者として感じる事、高齢者を見守る家族として感じる事など、学生間で討論することを大切にしています。実践を通して高齢者とその家族を含め、高齢者看護の理解に向けて調整しています。学外実習では、対象者との出会いの場面から、高齢者の方が大切にされている思いや信念を受け止め、その方の目標を実習指導者・教員と共有しながら学修しています。

その他、地域の皆さまに向けて、高齢者とその家族についての公開講座を担当しております。今後も講演会など積極的に行っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

講座研究紹介

老年看護学の教員は、高齢者や高齢者を支える家族を対象とした研究に取り組んでいます。高齢者が安心して生活できる環境調整に関する研究として、高齢者の「食べる」楽しみへのケアの開発、高齢者の誤嚥予防に対する調整、転倒防止対策への看護実践の取り組みを行っています。また、在宅で生活する方や高齢者施設における看取りの看護についての研究を進めています。

今後ますます高齢化が進むなかで、高齢者の「生きがい」に関する研究についても取り組んでいきたいと思っています。若者が年を重ねることは楽しみのも1つです！と未来像がワクワクするよう、高齢者の身体機能の変化をはじめ、自分らしい時を過ごすための方法など、高齢者看護の研究を進めてまいります。